

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 植物ロボットの研究
2. 研究代表者： 新竹 純（電気通信大学 大学院情報理工学研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、新規の手法として植物で構成されたロボットの実現を目指すという、他とは一線を画する大変独創的な研究に取り組んでいる。フェーズ1では、精度の高いデータ取得、モデリングへの取り組みなど、高いレベルの研究を展開している。特に、制御対象のスピード感や自然との一体感など、興味深い成果を出しており評価できる。フェーズ2では、単に植物ロボットを作るだけでなく、植物ロボットに関する新しい学理の構築や社会的貢献など出口をより明確にすることに期待する。

以上